

Pallet

第1号

特集：自立支援

発行 令和元年10月1日



この度の台風15号により被害を受けられた皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。
電気がついて、水が出て、電話が通じる・・・、そんなあたり前と感じてきたライフラインのありがたさを痛感させられました。それとともに、連絡を取り合い、困っている家庭にすぐに手を差し伸べる里親家庭・ファミリーホームの皆さまのネットワークの強さに感心した一週間でもありました。
被災された方々の心身の疲労はいかばかりかと心配しております。一日も早い復旧を心から祈ります。

今年の5月に千葉市そごうデパート地下通路に展示した里親制度啓発パネルの一部です。
施設から巣立ち、社会で暮らす青年たちの現実を伝えたものです。

女の子といっても25歳。卒園してだいぶ経つのに、カラオケボックスと洋品店のカードが施設あてに届いたのです。カードを作るのに現住所を施設の住所にしたのでしょ。で、本人宛にカードとちょっとした手紙をつけて郵送した。そうしたら彼女からお礼の電話がかかってきた。泣きながら話すのです。今苦しくて辛くてたまらなかった。こんな風に手紙をもらって本当に嬉しかった。ほんのちょっとした手紙ですよ。その子には5年間くらい何の連絡も入れてなかった。5年ぶりの、何でもなし手紙ひとつに嬉しくて、泣きながら電話してくる。それが、この子たちが抱える寂しさです。

ある施設職員の話から



荷物をみんな車に積み込み、
住みなれた施設の門を出て
子ども達は巣立って行きます。



見送る在園生や職員。
がんばれよー。元気でね。
でも本当は、一番伝えたい。
「いつでも帰ってこいよ」と。
無理ですよ。
卒園生が100人も200人も
いるんですよ。
帰ってこれる場所がない。

退所児童等 アフターケア事業



千葉県稲毛区園生町 1107-7 ☎ 043-290-0351
mail : cans@kazenomura.jp

社会に巣立ちゆく

穴川から園生に引越したばかりの事務所を、8月19日に訪問。「ごめんなさい、まだ片付いてなくて・・・」とさわやかな笑顔で迎えていただく。



CANSは、千葉県から「退所児童等アフターケア事業」を受託し、施設や里親家庭等から自立する子ども達（18歳以上の者を含む）に対して、アフターケア（自立支援）を行っている。

誰が相談できるの？



里親家庭やファミリーホーム、
あるいは施設で生活している子ども達。
そこを巣立った子ども達
里親さんや施設の職員も相談できます

若者が中心ですが、
特に年齢はきまっていません

相談経路 H31年末現在



里親家庭・ファミリーホームの皆さんへ

CANSの存在を知っていただき、もっと活用していただきたいな、と感じています。例えば、社会に出て躓いた時、大好きな里親さんには心配かけたくない、顔向けできないという子どももいます。こういう相談機関を知っていれば、考えが広がると思います。例えば奨学金を利用するにも、どの奨学金を組み合わせるか一緒に考えることができます。全国のアフターケア事業所がネットワークを作りました。これにより、県外に出た子達のフォローもやりやすくなりました。施設で卒園前の子ども達対象のセミナーを実施することもありますし、個別に巣立っていく前からご相談をお受けしたりしています。特に今困っていなくても、将来を見据えて「こんなところがあるよ」ということを知っていただければ嬉しいです♪

どんな相談ができるの？

住むところがない。
引越後の手続きが
わからない・・・

仕事が見つからない
仕事を辞めたい

進学するのに、
どのくらいお金がいるの？

お金がない！
アパート代、滞納
していました。

この頃眠れない
何だかつかれちゃった

どんな風に相談できるの？

どんな相談でも、最初にご本人にお会いして、どんなことに困っているのかを一緒に整理することから始めます。そして、それぞれの困りごとに応じて、一緒に考え、時には市役所、病院等々へ同行します。市役所や中核支援センター、社協、若者支援の団体等、ネットワークを活用してサポートしていきます。施設や里親さん等と連携しながら、子どもたちの自立のサポートをしていきます。お金の相談が一番多いです。が、缶詰の缶は、どうやって捨てたらいい？ など生活に密着した小さな相談もあります。

新人里親で～す！！

よろしく・・・

ひと言インタビュー

わが家

ゆるり

しゅん

銚子地区のホヤホヤ里親 S さんご夫婦にインタビューしちゃいました・・・

とうちゃんは、熱い心で
闘いつづけるじょお！！

□ 実子がまだ小さな今、里親になられたのはなぜですか？

実子を含めて育てていった方が、子どもたちがお互いに育ち合えると思ったことが理由です。

□ これからの抱負を聞かせてください。

不安や心配が全くないわけではありませんが、気負わずに夫婦で協力しながらいきたいと思っています。



子ども達へのエール

自立援助ホーム



自立援助ホームとは、義務教育修了後、理由あって家庭で暮らせない、又は施設等を退所後の青少年がスタッフと共に暮らし、働きながら社会に出る準備をするところ。原則15～20歳、事情によって22歳までが対象。第2種社会福祉事業にあたる。



道案内されて歩いていると、「やあ、〇〇ちゃん」と声がかかる。ここは、おぐらっち(「みんなのいえ」ではスタッフはニックネームで呼ばれる)の育った町だ。やんちゃだった頃支えてもらったこの市原の地に、今度は自分が「いえ」を作ろう…。帰る「いえ」のない、働く青年たちの「おうち」を作ろう……。幸いここには空き家がたくさんある。その一軒を守り受け、2016年11月、「みんなのいえ」が誕生した。

自立援助ホーム「みんなのいえ」のスタッフ おぐらっち(代表)となっちゃんに伺いました。

「みんなのいえ」は男子寮 定員は6名です
・今は16～18歳の5人が暮らしています。施設に馴染めず問題を起こしたり、退所後行くところがなかったり、と施設からの入居が多いですが、親子関係の悪化や虐待の理由で家庭からの入居もあります。開設以来2年8カ月で7人がここで暮らし、そのうち2人が巣立って行きました。

生活のルールは、ほとんどありません

・そう、冷蔵庫の私物には、ほかのひとに食べられないように名前を書こうよ、くらいかな。ルールがたくさんあると、前の施設や一時保護所と一緒にじゃないか、と言った子がいて、だったら、何か問題が起きたら、みんなで話し合えて解決していこうよ、としました。だから、門限もないし、鍵もかけない。

「自立支援＝就労支援」とは言い切れない。

・ここにきて、誰もがすぐに働けるわけではないですね。実際1年近く引きこもっていた子もいます。寝るのに飽きた頃がチャンスなんです！
・年齢的にも仕事と言っても、飲食店やコンビニ等のサービス業、製造業の短期バイトなどを転々とする子がほとんどです。職場の人間関係で躓いたり、規則が守れない、怒られて自信をなくす、そんな理由で、仕事もすぐに辞めてしまったりします。
・でもね、子ども達と暮らして教わったんです。どこにも行き場がなく、やっと「みんなのいえ」にたどり着いた子たち、暮らしの中で、うんざりするようなたくさんのキャッチボールを経て「ああ、ここに来てよかった」と言ってもらえること、それが自立支援じゃないかなって。落ち着いてくると、定時制高校に通う子もいます。

おぐらっちとなっちゃんは、高校の同級生とか。
・そうなんです。たまたま会った時に、こんなことを始める、と聞いて、それが、いつの間にかスタッフになってましたと、なっちゃん。自身も子育て中の母親で、最初母としての気持ちが先に出てしまって、関わりにちょっと苦勞しました。自分のやり方を見つけてから楽になりましたね。
・スタッフは今常勤3人、非常勤4人。経験や資格にこだわらず、いろいろな生き方をしてきた人達の集まりです、と、おぐらっち。日々言葉で伝えること、共に暮らす中で教えること、そして、子ども達が自分自身に向き合い、自分の力で解決する経験を積むための助言の引き出しをどう増やしていくかを大切にしています。

生活費として月2万5000円もらっています

・なけなしのバイト代が入ると「ハイ、これ」って子どもたちが持ってくる。それが、どこか誇らしげな顔をするんです。だから、こちらも「うわあ、助かるよ」と受け取る。
・自立援助ホームは、働いている子のホームという前提なので国からの生活費補助が少ない。全国的には寮費は3万円というホームが多いようです。

里親さんのことをもっともっと知りたい

・僕自身、施設職員だったので、施設のことはある程度分かっているのですが、里親制度のこと、里親さんのことを、あまり知らない。もっとお互いに知り合って、地域の仲間としてできることがあるんじゃないかな……。これから、よろしくお願いします。

要らなくなったドアで作ったテーブル、木のぬくもりのある暮らしを感じました。

生活のルールがほとんどないのお話がとても印象に残りました。



7月18日、訪問させていただきました

自分自身をケアすることを知らない子どもたちの課題というお話が印象的でした。普通の暮らしの中で大切にされること自体がケアだと実感。

うちの施設出身の子が「ここに来て良かった」と言っていた話にジーン……。

各地区だより



パネル展示、
来てください。

市川・柏地区

- ・市川支部は、里親さんから嬉しいこと、大変なことなどたくさんお話をお聞きしたいです。
- ・柏支部よりお知らせです。社会福祉法人晴香のホームページに「里親じょーほー館」を開設しました。

君津地区

いつかはやりたいねと話していた『里父会』を、今夏白浜みどりの家で、里親会君津支部で開催しました。児童相談所の方などもみえて、大変盛り上がりました。次回も楽しみです。
でも、先に『里母会』の開催かなあ……。



中央・千葉市地区

千葉市では毎年恒例デイキャンプに、たくさんのご参加をいただきました！ 個性あふれるギョーザと里父チームの炒飯、おいしかった～♪
秋には生涯学習センターでフォスター写真展&啓発パネル展示（11/1～7）、里親さん向けプログラム3期も開催します。たくさんの方との出会いに心躍る季節です。

とうそう（銚子）地区

昨年度と比較して、微増ではありますが、里親登録をされる方が増えています。新たな取り組みとして、7月に施設（香取学園）の七夕会に参加していただきました。今後も、里親推進活動を継続していききたいと思います。

東上総地区

9月7日に東上総支部里親会のバーベキュー&サロン行事がありました。美味しい焼き肉と焼きそばを食べながら、楽しく会員の皆さんとの交流の時間を持つことができました。



里親支援専門相談員 連絡先一覧

地区	事業形態	施設名	氏名	電話	メールアドレス
中央・千葉市地区	① 乳児院	ほうゆうベビーホーム	金子美代子	047(409)5550	babyhome@houyukai.or.jp
	② 児童養護施設	成田学園	齊藤大作	0476(27)5451	suginoko@it5.so-net.ne.jp
	③ 乳児院	イーハトーブ	スガサワロシ 菅佐原俊	043(440)0020	s.mrk@y-kaitaku.or.jp
	④ 児童養護施設	ほうゆう・キッズホーム	林美緒	043(215)2100	kodomomirai-houyu@houyukai.or.jp
	⑤ 乳児院	ほうゆうエンジェルホーム	及川悠香	043(215)2155	angelhome@houyukai.or.jp
	⑥ 児童養護施設	房総双葉学園	野村恵美	043(251)2612	sato-futaba@mbr.nifty.com
	⑦ 児童養護施設	千葉みらい響の杜学園	鈴木 郷	043(310)6001	hibiki@tenyuukai.jp
市川・柏地区	⑧ 児童養護施設	おんちよう園	河村亮子	047(466)4020	info@onchoen.or.jp
	⑨ 児童養護施設	晴香園	門馬真之	047(345)2722	info@s-haruka.org
銚子 地区	⑩ 児童養護施設	東海学園	宍倉友紀子	0479(62)0758	tokai-g@celery.ocn.ne.jp
	⑪ 児童養護施設	香取学園 松葉寮	早田絵美	0478(86)3535	katorigakuen@at.wakwak.com
	⑫ 児童養護施設	滝郷学園	滑川貴子	0479(55)3027	takisato@circus.ocn.ne.jp
君津 地区	⑬ 児童養護施設	野の花の家	宇田川政男	0438(53)2787	viola@chime.ocn.ne.jp
	⑭ 児童養護施設	はぐくみの杜君津	斉田由美	0439(70)1117	hagukuminomori@kazenomura.jp
	⑮ 乳児院	はぐくみの杜君津 赤ちゃんの家	タカハシ 田中聡子	0439(27)0300	akachannoie2@kazenomura.jp
東上総地区	⑯ 児童養護施設	子山ホーム	柴田弘子	0470(62)2325	h.shibata@h-kovama.or.jp
	⑰ 児童養護施設	獅子吼園	中村由理子	0475(22)2397	shishiku-449@orion.ocn.ne.jp
	⑱ 児童養護施設	一宮学園	大矢真弓	0475(42)2069	siig@atlas.plala.or.jp
里親支援専門相談員以外の里親担当を配置する施設					
	⑲ 乳児院	聖愛乳児園	大曾根貴子(FSW)	0470(87)7550	seiainyuiein@basil.ocn.ne.jp
	⑳ 児童養護施設	びつき	田口寛正(心理)	0438(40)5900	hakuwakai@cc.wakwak.com